

第5学年 総合的な学習の時間（人権）学習指導案

1 主 題 人とつながり 輝く命 ～自分たちにできること～

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

○一人ひとりのかけがえない命や人権を守る大切さを理解させる。

○自ら進んで互いに支え合い、行動しようとする態度を養う。

○友だちの考えをしっかりと聞き、自分の考えや思いを伝え合う話し合いの力を高める。

4 指導計画（別紙）

5 本時の学習

（1）目 標

避難所生活において、一人ひとりの人権を守る大切さを理解し、自分たちにできることは何かを考え、様々な立場の人のことを思いやり支え合おうとする意欲を育てる。

（2）個人人権課題名 災害時における人権問題

（3）展 開

学習活動と予想される子どもの意識の流れ	指導上の留意点
1 これまでの学習を振り返る。 ・ 渋野の地域の人々は、避難所に対してどんな不安を感じているのか分かったね。 ・ 避難所としての渋野小学校の備えについて調べて分かったね。	○ 本時の学習の意欲付けと方向付けをする。
避難所で人々が安心して過ごせるために、自分たちにできることは何だろう。	
2 自分たちにできることをグループで話し合う。 ・ 体が不自由な人がいたら、歩くときに支えたり、必要な物を取りに行きたい。 ・ 保育所で教えてくれたように、小さな子どもは体力が少ないから、先に毛布や食べ物を渡したい。	○ 一人ひとりの人権を守るために自分たちにできることをグループで話し合う。 （イ）（ウ） ・ 具体的な場面を想定した、話し合い活動が進むように学習ファイルの振り返りやワークシートの活用について助言する。
3 話し合った内容を発表し共有する。	○ 自分の考えと比べたり、よいところを見つけたりできるように促す。 （ウ）
4 本時の学習を振り返る。 ・ 自分の考えを発表する。	○ 学習を振り返り、様々な人のことを思いやり、支え合おうとする意欲を高める。（ア）（イ）

（4）評 価

・ 避難所生活において、一人ひとりの人権を守ることの大切さを理解することができたか。

【知識的側面】（ア）

・ 避難所生活で人々が安心して過ごせるために、自分たちにできることは何かを考え、思いやり支え合っていこうとする意欲をもつことができたか。

【価値的・態度的側面】（イ）

・ 友だちの考えを聞き、自分の思いや考えを出して話し合うことができたか。

【技能的側面】（ウ）

4 子どもの意識の流れと学習構成「人とつながり 輝く命」(32 時間)

【主題に関する人権学習（総合的な学習の時間）】

【主題に関わる教科等・行事】

《 東日本大震災について調べよう（8 時間） 》

「東日本大震災ってなんだろう。」

・ 東日本大震災について、夏休みにそれぞれ様々なテーマで調べてきているのだな。

・ どれだけ多くの人が悲しみ、苦しんでいるのだろう。震災当時の暮らしと今の暮らしはどうなっているのだろう。

○ 実際にどんな思いで地震と向き合ってきたのだろう。

「実際の被災地はどのような様子だったのだろう。」

○ 津波や地震で多くの人々が亡くなっているんだな。多くの人がつらい思いをしたのだな。

・ 友だちのお父さんが実際に被災地に行って多くの活動をしてたことに驚いた。徳島から遠く離れていても自分ができることをしようとする強い思いを感じた。

○ 避難所でどんな生活をしてたのだろう。元の生活にものどことはできるのだろうか。

・ 南海トラフ地震が来たらどうになってしまうのだろう。自分たちはどうなるのかな。

その思いを受けついで（2 時間）

- ・ 「死」について考えさせられた。
- ・ 人は亡くなっても、その人との思い出はなくなるのだと思った。
- ・ 自分と同じように生活をしていた小学生在津波の犠牲になってしまったことが悲しかった。
- ・ 家族の大切さを改めて感じた。

道徳「その思いを受けついで」
道徳「ひまわりのおか」

《 南海トラフ地震について考えよう（13 時間） 》

・ 南海トラフ地震はぼくたちが生きていくうちに起きるはずだ。対策を考えなくては行けない。

・ 電気も水もガスも使えなくなると、トイレはどうするのだろう。災害用の食料は十分にあるのかな。

・ 渋野小学校が避難所になったときの備えとしてどんな物がそろっているのかな。

○ 災害関連死というのを知ったよ。どうしたら災害関連死を防げるのだろう。

「実際の避難所はどんな所だろう。」

・ 避難所にはいろいろな人がいるからこそ、多くの人権問題があることが分かった。

○ 避難所で困るのは誰だろう。一番に支援が必要な人について考えたい。

・ 渋野小学校が避難所になったら同じような問題が起こるはずだ。どうしたらいいのかな。

「渋野小学校はどんな避難所になるのだろう。」

○ 段ボールベッドは床よりも寝やすいが、数に限りがあるので、全員は使えないんだな。体が不自由な人には手助けが必要だな。

・ トイレを組み立てたり災害食料を調理したりするのは大変だったけど、協力したらできた。自分にもできることがあるのだな。

・ いろいろな人が避難所に集まるから、それぞれの人が困ることを考えないといけないのだな。

「地域の人は南海トラフ地震についてどんな心配があるのだろう。」

・ ばくのおじいちゃん足が不自由だ。歩くときに介助が必要だな。

・ 赤ちゃんはミルクやおむつが足りなくて困るかもしれない。どうすればいいのだろう。

○ 小さな子どもはじっとしたり、静かにしたりするのはストレスがたまるだろうな。お母さんも心配だろうね。

・ 外国の人はすぐに避難所の場所が分かるのかな。どんな工夫をすればいいのかな。

「一人ひとり人権を守るために自分たちにできることはなんだろう。」

自助・公助・共助を考える（5 時間）

- ・ 儀兵衛がしたこととその業績について読み取ろう。
- ・ 自助と共助の意識は、今総合で学んでいることにつながっているな。
- ・ 今の生活で人のためにできることはどんなことだろう。

国語科「百年後のふるさとを守る」

《 自分たちにできることを考えよう（4 時間） 本時 1 / 4 》

・ 避難所で体が不自由な人が移動したいときは、友だちと協力して一緒に連れて行きたい。

・ 小さな子どもがいたら、一緒に遊んで、お母さんの負担を軽くしたい。

・ 外国の人でも分かるように、英語表記にしたほうがいい。

○ 自分も大変な状況だけど、自分よりも困難な人がいるから、できることをしたい。

「今まで考えてきたことをこれからの生活に生かすにはどうしたらいいだろう。」

・ 今まで考えてきたことを、学校のみんなや地域の人に伝えたい。

○ 人の考えや思いをよく聞いて、自分の思いをしっかりと伝えていきたい。

・ 進んで自分がよいと思ったことをしていきたい。

・ 困っている人がいたら、友だちと協力して、手助けしていきたい。

※○は位置づけた子の予想される意識の流れ

第5学年 相手の立場を尊重し、支え合って共に生きる（8月変更版）

教科領域	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学年目標	1.自分や友達の良いところや違いを認め合い、互いに高め合うことができる。 2.様々な差別に気づき、主体的に課題解決に取り組むことができる。											
人権	よさやちがいを認め合って 名前つけてよ 友だちとの関わり合いについても考えてみよう。						共に支え合って 明日をつくるわたしたち 身近な問題に目を向けて、解決するための話し合いと提案をしてみよう。					
国語	主体的に課題解決するために 名前つけてよ 友だちとの関わり合いについても考えてみよう。						主体的に課題解決するために 百年後のふりかえり 過去の情報を参考にすることで、防災に対する意識を高めていこう。					
算数	共に支え合って 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々											
社会	共に支え合って 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々											
道徳	共に支え合って 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々											
総合的な学習の時間	共に支え合って 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々											
特活	共に支え合って 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々											
図画工作	共に支え合って 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々											
体育	共に支え合って 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々											
外国語活動	共に支え合って 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々											
家庭科	共に支え合って 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々											
音楽	共に支え合って 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々											
理科	共に支え合って 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々 食料生産を支える人々											